

# 「王子駅周辺まちづくりグランドデザイン」中間まとめ

## ■王子駅周辺まちづくりグランドデザイン コンセプト（案）

～考え方～

これからのまちづくりは、人口減少や高齢社会の到来など社会経済環境の変化に伴う多くの行政課題に的確に対応し、最新の技術的知見や民間の知見等も踏まえ、「選択と集中」による「まちづくりの視点」が一層重要になっています。

王子駅周辺は、交通利便性に富み、首都高速道路王子線の完成、石神井川の護岸整備、JR貨物北王子支線の廃線、駅前商業ビル等の建物更新など、まちに変化をもたらす要因が数多くあり、多様な都市機能が共存する地区として発展する可能性を持ち合わせています。まちが変化し、動いているこの機会を捉え、近接する堀船地区周辺の防災性の向上を図り、東京の北の拠点として王子駅周辺のまちづくりを推進します。

## 歴史と文化薫る、にぎわいと交流の拠点 王子

歴史や文化、自然を区民が身近に感じ、災害に強い、商業・業務の経済活動、区民の交流の拠点となる王子のまちの形成を目指します。

### 災害に強いまち

- ・ 溝田橋周辺では平成17年9月、22年7月に、石神井川の溢水による浸水被害を受けており、水害への対策が緊急の課題となっています。
- ・ 新たに改定した「北区地域防災計画」における取組みを着実に推進するとともに、貯水施設の整備検討を東京都に求めていくなど地域の水害対策の推進に取り組みます。
- ・ また堀船地区周辺に広がる木造住宅密集地域では、首都直下地震等の切迫性や東日本大震災の発生を踏まえ、避難経路・緊急車両等の交通確保など災害に強いまちづくりを進めます。

### 歴史や文化、自然を感じるまち

- ・ 江戸時代から桜の花見で賑わう飛鳥山など、古くから王子駅周辺は人々の憩いや行楽の地として親しまれてきました。また、現在も音無親水公園などが整備され、子供たちの水遊びの場やロケ地などとして利用されています。
- ・ 近代は、軍の施設整備、洋紙発祥の地として印刷を中心に工業による都市化が進み、現在も、新しい技術や新製品の開発に取り組む付加価値の高い工場等があります。
- ・ このような現代に続くまちの歴史や文化、自然を、区民が身近に感じ、誇りに思えるまちづくりを進めます。

### にぎわいと活気のあるまち

- ・ 駅周辺は、通勤、通学等で混雑していますが、駅周辺の施設の利用や買い物を目的として訪れる人はそれほど多くはありません。
- ・ 北区の顔となる駅前として、それにふさわしい商業の集積や土地利用を誘導し、店舗をはじめ駅周辺の魅力を高め、多くの人々が訪れ、集える活気とにぎわいのあるまちの形成を目指します。

### 交通拠点機能の充実したまち

- ・ 王子駅は、鉄道、都電、バス、自動車、自転車、歩行者などの交通結節点となっていますが、それらが複雑に交錯し、乗換え等が不便な状況も見受けられます。
- ・ 現在の複雑な交通ネットワークを効果的につなぎ、交通拠点機能を強化するとともに、将来的には集約するなど、機能の充実、利便性の向上を図ります。
- ・ また、交通ネットワークを活かし、区内外に立地する大学等の教育機関との連携・協働を推進するなど、産学官の交流拠点の創出を目指します。
- ・ 首都高速道路と高速バスを活用した羽田・成田空港等国際拠点などとのアクセス向上を目指します。

王子駅周辺まちづくりグランドデザイン コンセプト（案）

## 歴史と文化薫る、にぎわいと交流の拠点 王子

歴史や文化、  
自然を  
感じるまち

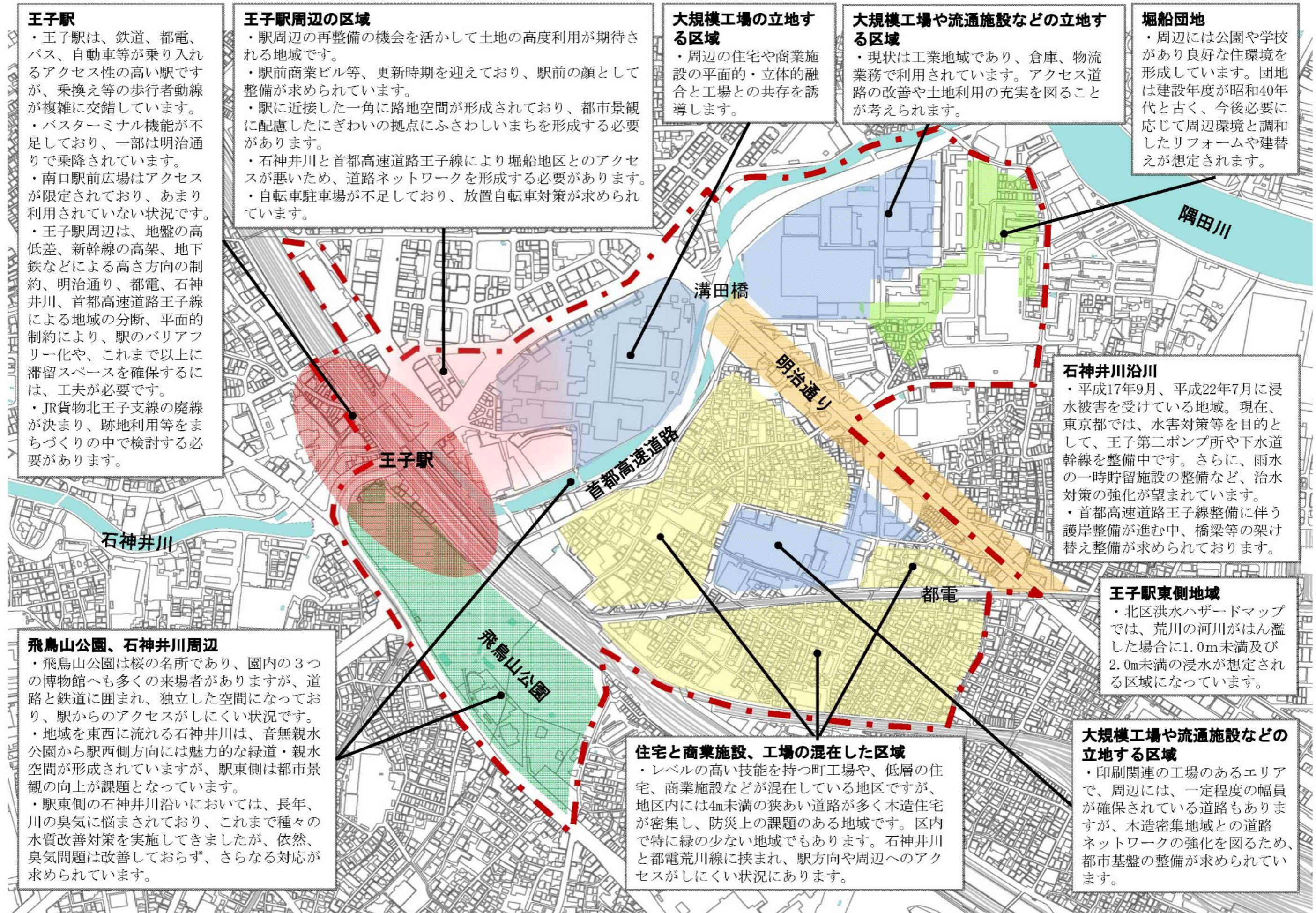
災害に強い  
まち

歴史と文化薫る、  
にぎわいと交流の拠点  
王子

にぎわいと  
活気  
のあるまち

交通拠点機能  
の充実したまち





**王子駅**

- 王子駅は、鉄道、都電、バス、自動車等が乗り入れるアクセス性の高い駅ですが、乗換え等の歩行者動線が複雑に交錯しています。
- バスターミナル機能が不足しており、一部は明治通りで乗降されています。
- 南口駅前広場はアクセスが限定されており、あまり利用されていない状況です。
- 王子駅周辺は、地盤の高低差、新幹線の高架、地下鉄などによる高さ方向の制約、明治通り、都電、石神井川、首都高速道路王子線による地域の分断、平面的制約により、駅のバリアフリー化や、これまで以上に滞留スペースを確保するには、工夫が必要です。
- JR貨物北王子支線の廃線が決まり、跡地利用等をまちづくりの中で検討する必要があります。

**王子駅周辺の区域**

- 駅周辺の再整備の機会を活かして土地の高度利用が期待される地域です。
- 駅前商業ビル等、更新時期を迎えており、駅前の顔として整備が求められています。
- 駅に近接した一角に路地空間が形成されており、都市景観に配慮したにぎわいの拠点にふさわしいまちを形成する必要があります。
- 石神井川と首都高速道路王子線により堀船地区とのアクセスが悪いため、道路ネットワークを形成する必要があります。
- 自転車駐車場が不足しており、放置自転車対策が求められています。

**大規模工場の立地する区域**

- 周辺の住宅や商業施設の平面的・立体的融合と工場との共存を誘導します。

**大規模工場や流通施設などの立地する区域**

- 現状は工業地域であり、倉庫、物流業務で利用されています。アクセス道路の改善や土地利用の充実を図ることが考えられます。

**堀船団地**

- 周辺には公園や学校があり良好な住環境を形成しています。団地は建設年度が昭和40年代と古く、今後必要に応じて周辺環境と調和したリフォームや建替えが想定されます。

**石神井川沿川**

- 平成17年9月、平成22年7月に浸水被害を受けている地域。現在、東京都では、水害対策等を目的として、王子第二ポンプ所や下水道幹線を整備中です。さらに、雨水の一時貯留施設の整備など、治水対策の強化が望まれています。
- 首都高速道路王子線整備に伴う護岸整備が進む中、橋梁等の架け替え整備が求められています。

**王子駅東側地域**

- 北区洪水ハザードマップでは、荒川の河川がはん濫した場合に1.0m未満及び2.0m未満の浸水が想定される区域になっています。

**飛鳥山公園、石神井川周辺**

- 飛鳥山公園は桜の名所であり、園内の3つの博物館へも多くの来場者がありますが、道路と鉄道に囲まれ、独立した空間になっており、駅からのアクセスがしにくい状況です。
- 地域を東西に流れる石神井川は、音無親水公園から駅西側方向には魅力的な緑道・親水空間が形成されていますが、駅東側は都市景観の向上が課題となっています。
- 駅東側の石神井川沿いにおいては、長年、川の臭気に悩まされており、これまで種々の水質改善対策を実施してきましたが、依然、臭気問題は改善しておらず、さらなる対応が求められています。

**住宅と商業施設、工場の混在した区域**

- レベルの高い技能を持つ町工場や、低層の住宅、商業施設などが混在している地区ですが、地区内には4m未満の狭い道路が多く木造住宅が密集し、防災上の課題のある地域です。区内で特に緑の少ない地域でもあります。石神井川と都電荒川線に挟まれ、駅方向や周辺へのアクセスがしにくい状況にあります。

**大規模工場や流通施設などの立地する区域**

- 印刷関連の工場のあるエリアで、周辺には、一定程度の幅員が確保されている道路もありますが、木造密集地域との道路ネットワークの強化を図るため、都市基盤の整備が求められています。



■土地利用及び道路ネットワークの考え方

